

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院における OPCAB の周術期輸液・輸血に関する後方視的検討
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	大角博志
研究期間	2024年1月 ～ 2025年3月
試料・情報を利用又は提供を開始する予定日	実施許可日（2024年1月12日）
対象者	2017年4月より2024年3月までの7年間に当院で OPCAB 手術を受けた患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	人工心肺を使用しない冠動脈バイパス術（OPCAB）は周術期の合併症低減に優れた術式であり、当院での手術件数も年々増加傾向にあります。その麻酔管理中の適切な輸液・輸血戦略、また循環動態を安定させる薬の適正使用は手術を安全に遂行するための重要な要素のひとつです。透析患者さんに対する手術数も増加傾向であり、また、新たな麻酔薬の登場など患者背景や使用薬剤など多様性を富むようになってきましたが、OPCAB における麻酔管理での一定の見解は定かではありません。そこで当院における OPCAB の適切な麻酔管理について検討することを目的とします。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、既往歴など）・手術情報（手術時間、術式、麻酔時間、輸液量、輸血量、カテコラミン使用量）・術後経過（挿管期間、腎機能障害、ICU 滞在日数、入院日数など）・採血結果 など
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記のとおりお問い合わせ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。

問合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 麻酔科 大角博志 代表 054-247-6111</p>
------	--